

鹿児島県感染症情報

2023年 第15週報 (4月10日~4月16日)

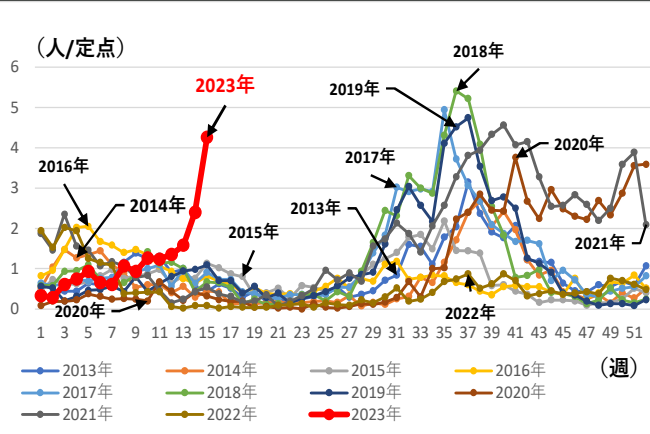
発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、4月16日時点での累積届出数が**443,308**例となりました。厚生労働省は5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染者療養期間を「発症翌日から5日間は外出を控えることを推奨する」と発表しました。

新型コロナウイルスは、発症翌日から4日程度まではウイルス量がまだまだ多く、発症翌日から6日前後になると、ウイルス排出量は発症日の20分の1から50分の1に減少することが、国立感染症研究所の分析結果から示唆されたことを受け、決定されました（本紙2頁下段の図を参照）。また、症状が軽くなってから24時間程度は、外出を控えることが推奨されるとしています。その上で、10日間が経過するまではウイルスを排出する可能性が高いことから、マスクの着用や、高齢者などの接触は控えることなど、周囲の人への配慮を求めています。

本県におけるRSウイルス感染症は例年秋から冬にかけて流行がみられましたが、近年、7月頃に報告数の増加がみられるようになりました。本年は春に報告数が増加している状況です。今後の動向については十分注意してください（下図を参照）。



本県における直近5週のRSウイルス感染症報告数をみると、第11週（67人）、第12週（73人）、第13週（82人）、第14週（127人）、第15週（226人）と増加傾向にあります。本疾患は1歳以下の報告数が全体の約7割を占めていますが、高齢者にもしばしば重篤な症状をもたらすことから、その流行の把握と感染対策は重要です。

外出先から帰ってきた大人や兄弟から感染するケースが多いと思われます。乳幼児や高齢者と接する機会が多い人は、手指衛生を心がけ、マスクを着用するなどの感染対策を講じてください。

第15週の定点報告疾患の報告状況を見ると、県内には3週連続で流行発生警報域及び流行発生注意報域の保健所はありません。RSウイルス感染症の報告数の多かった上位3保健所の直近3週の定点当たりの報告数の変動をみると、鹿児島市（第13週2.62→第14週3.62→第15週7.54）、川薩（0.00→5.50→7.00）、鹿屋（2.20→2.40→5.20）でした。また、夏かぜの代表格の手足口病、ヘルパンギーナの報告数が徐々に増えてきました。

☆一～五類感染症(全数把握対象疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核3例（肺結核1例，腸結核1例，無症状病原体保有者1例） 追加結核3例（第14週）
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例（血清型別/毒素型別：O157/VT1VT2）
四類感染症	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例
五類感染症	梅毒2例 追加カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例（第14週）
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症493例 （うち、みなし陽性者なし，コロナ・フォローアップセンターでの確定者26例を含む）

☆定点把握対象疾患の発生状況

- ・ 今週の定点医療機関は、インフルエンザ 定点**90**，小児科定点**53**です。（通常よりインフルエンザ2減 小児科1減）
- ・ 第15週の定点把握対象疾患の総報告数は764人で、前週より128人多い報告数でした（4頁参照）。
- ・ **流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所 該当なし
- ・ **流行発生注意報**の基準値以上の保健所 該当なし

※ 週報発行後、医療機関、保健所から追加、訂正報告があり、全数・定点の数値が変更する場合があります。

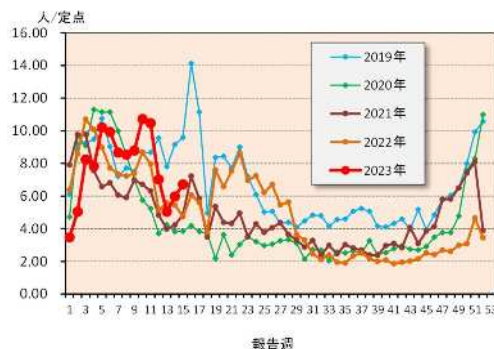
☆定点把握対象疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第15週の感染性胃腸炎の報告数は356人で、前週より39人多く、定点当たりの報告数は6.72であった。

年齢別では、2歳（54人）、1歳（53人）、3歳（50人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（11.23）、鹿屋保健所（10.40）、始良保健所（9.57）の順に多い。



(2) RSウイルス感染症

第15週のRSウイルス感染症の報告数は226人で、前週より99人多く、定点当たりの報告数は4.26であった。

年齢別では、1歳（114人）、6～11ヶ月（40人）、2歳（30人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（7.54）、川薩保健所（7.00）、鹿屋保健所（5.20）の順に多い。

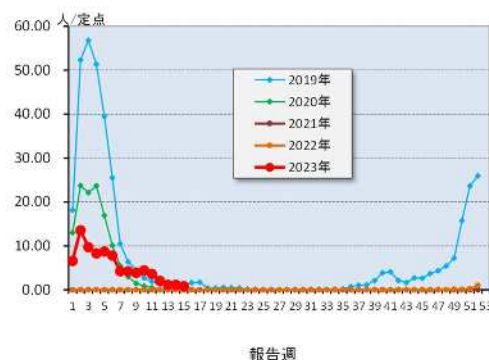


(3) インフルエンザ

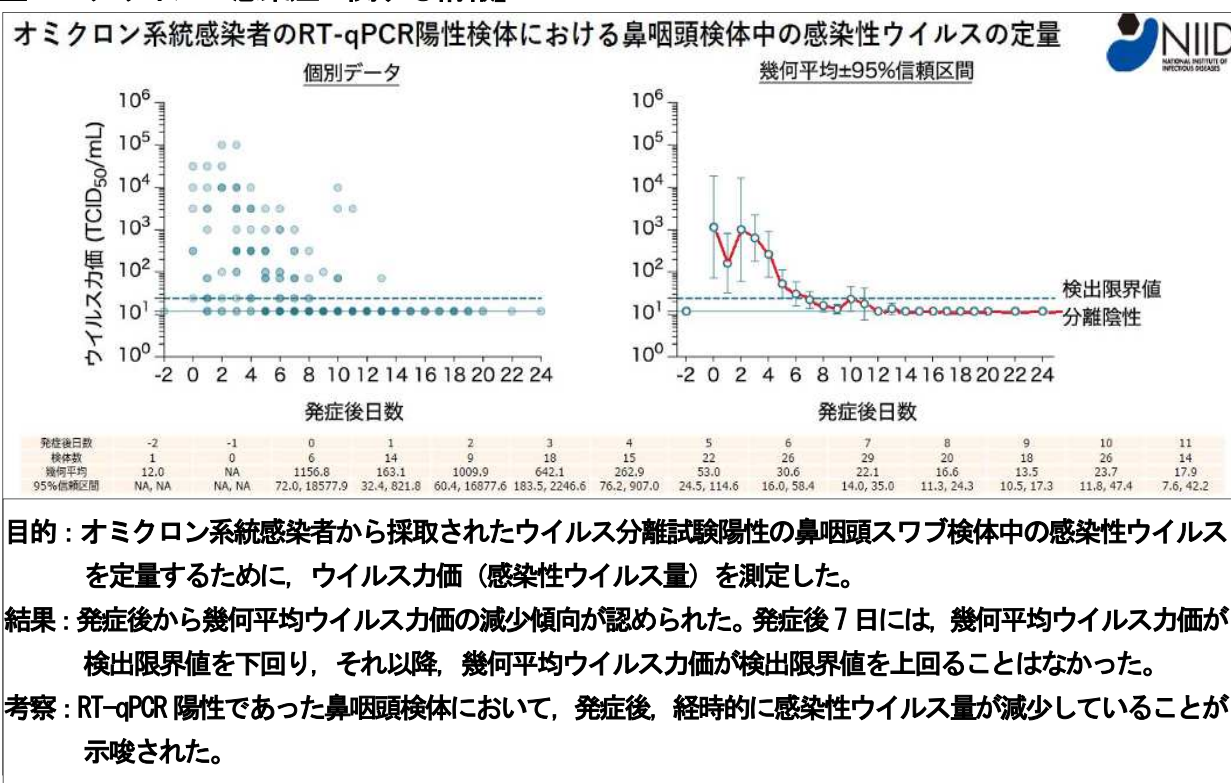
第15週のインフルエンザの報告数は75人で、前週より29人少なく、定点当たりの報告数は0.83であった。

年齢別では、5歳（11人）、6歳（10人）、10～14歳（9人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（2.14）、西之表保健所（2.00）、出水保健所（1.40）の順に多い。



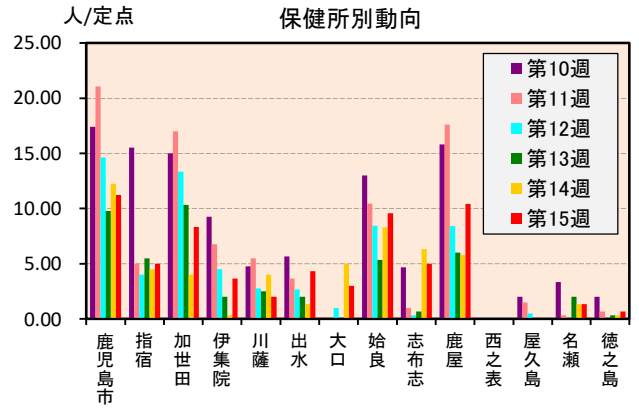
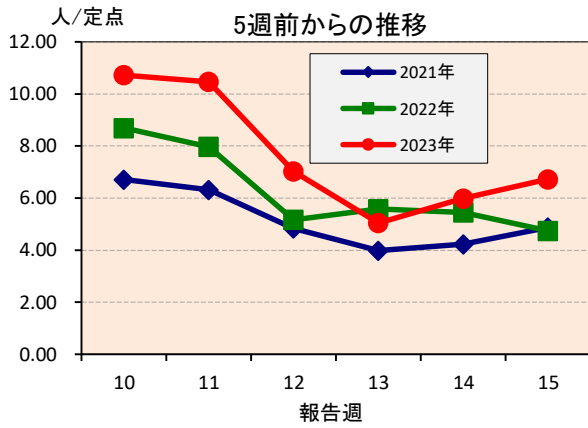
【新型コロナウイルス感染症に関する情報】



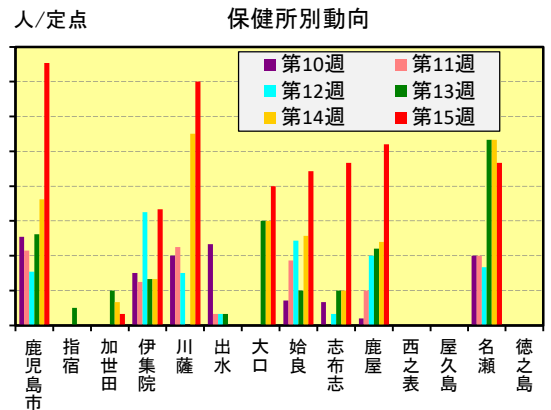
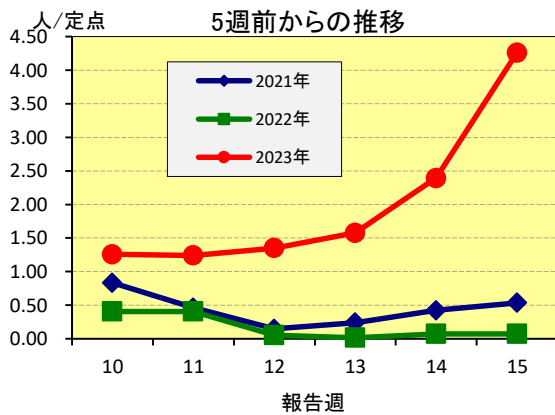
資料：オミكرون系統感染者のRT-qPCR陽性検体における鼻咽頭検体中の感染性ウイルスの定量
（国立感染症研究所・感染病理部）※ 資料下段部分は改変してあります。

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

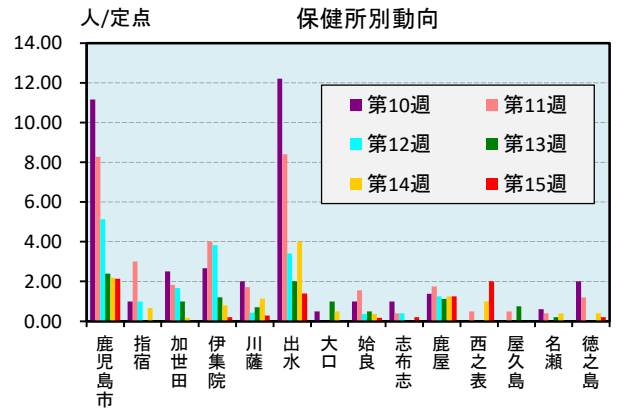
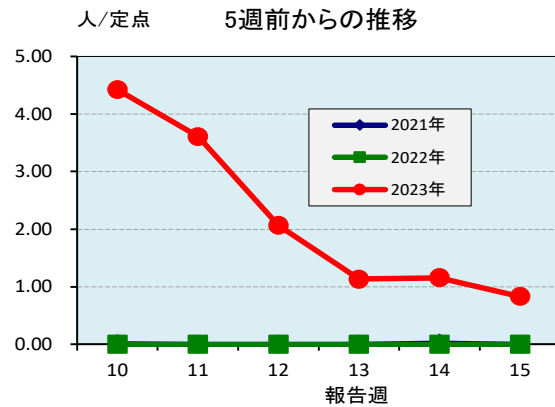
(1) 感染性胃腸炎



(2) RSウイルス感染症

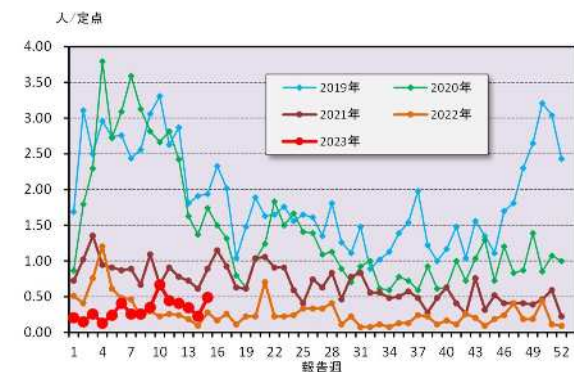


(3) インフルエンザ

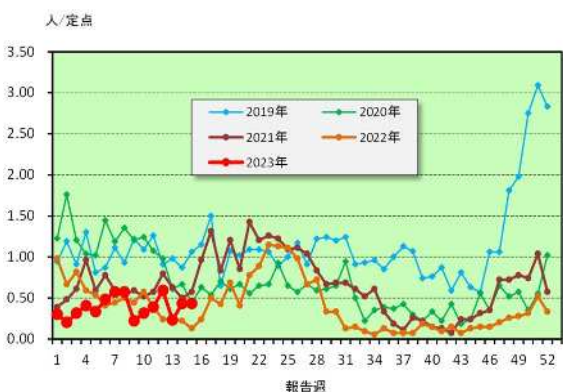


☆注目される感染症の発生状況

★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (鹿児島県)



★ 咽頭結膜熱 (鹿児島県)



☆定点把握対象疾患の発生状況

2023年	(報告週)	第15週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	75	0.83	7,367
小児科定点	咽頭結膜熱	23	0.43	312
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	0.49	260
	○ 感染性胃腸炎	356	6.72	6,273
	○ 水痘	5	0.09	47
	○ 手足口病	11	0.21	160
	伝染性紅斑	-	-	12
	○ 突発性発しん	17	0.32	227
	ヘルパンギーナ	19	0.36	135
	○ 流行性耳下腺炎	4	0.08	39
	○ RSウイルス感染症	226	4.26	975
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	2
	流行性角結膜炎	2	0.29	38
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	1
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	-
報告数合計		764	0	15,848

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2023年10週)	4週前 (2023年11週)	3週前 (2023年12週)	2週前 (2023年13週)	1週前 (2023年14週)	今週 (2023年15週)
インフルエンザ	報告数	407	332	190	102	104	75
	定点当り	4.42	3.61	2.07	1.13	1.16	0.83
RSウイルス感染症	報告数	68	67	73	82	127	226
	定点当り	1.26	1.24	1.35	1.58	2.40	4.26
咽頭結膜熱	報告数	17	21	32	12	23	23
	定点当り	0.31	0.39	0.59	0.23	0.43	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	36	24	22	18	12	26
	定点当り	0.67	0.44	0.41	0.35	0.23	0.49
感染性胃腸炎	報告数	579	565	379	262	317	356
	定点当り	10.72	10.46	7.02	5.04	5.98	6.72
水痘	報告数	2	3	-	2	4	5
	定点当り	0.04	0.06	-	0.04	0.08	0.09
手足口病	報告数	2	4	4	8	6	11
	定点当り	0.04	0.07	0.07	0.15	0.11	0.21
伝染性紅斑	報告数	2	1	1	-	-	-
	定点当り	0.04	0.02	0.02	-	-	-
突発性発しん	報告数	18	16	16	14	12	17
	定点当り	0.33	0.30	0.30	0.27	0.23	0.32
ヘルパンギーナ	報告数	7	3	5	8	22	19
	定点当り	0.13	0.06	0.09	0.15	0.42	0.36
流行性耳下腺炎	報告数	1	4	2	5	2	4
	定点当り	0.02	0.07	0.04	0.10	0.04	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	5	1	2	1	6	2
	定点当り	0.71	0.14	0.29	0.14	0.86	0.29
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2023年15週(04月10日～04月16日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿児島市	47	2.14	98	7.54	8	0.62	12	0.92	146	11.23	2	0.15	8	0.62	-	-	4	0.31
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	1	0.33	-	-	-	-	25	8.33	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	1	0.20	10	3.33	-	-	7	2.33	11	3.67	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	2	0.29	28	7.00	2	0.50	1	0.25	8	2.00	2	0.50	-	-	-	-	1	0.25
出水	7	1.40	-	-	4	1.33	2	0.67	13	4.33	-	-	-	-	-	-	2	0.67
大口	-	-	4	4.00	-	-	1	1.00	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	2	0.18	31	4.43	3	0.43	-	-	67	9.57	-	-	-	-	-	-	7	1.00
志布志	1	0.20	14	4.67	3	1.00	1	0.33	15	5.00	-	-	-	-	-	-	1	0.33
鹿屋	10	1.25	26	5.20	3	0.60	2	0.40	52	10.40	-	-	-	-	-	-	2	0.40
西之表	4	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	14	4.67	-	-	-	-	4	1.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-
徳之島	1	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-	3	1.00	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性眼膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム菌は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿児島市	19	0.36	4	0.08	0	0.00	2	0.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
指宿	2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	9	1.29	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

